

創立30周年記念 2025年スペシャルオリンピックス日本 近畿ブロック卓球競技会

日時／2025年6月21日 枚方市総合体育館
福岡参加者数／選手団10名(アスリート6名・コーチ4名)

全国16地区より、84名のアスリート、コーチ役員38名、卓球審判22名、ボランティア48名、応援ファミリー85名、応援チア27名、来賓その他5名の合計309名が参加しました。



2025年EKSデー

日時／2025年7月6日 場所／七隈ファミリーボウル
参加人数／100名

今年もアスリートとパートナーがペアになり力を合わせて競技を行い、インクルーシブなスポーツ交流を行うことができました。

《協力企業》

・トヨタ自動車九州株式会社様・ソニー生命様・エニタイムフィットネスフランチャイズオーナー様の(株)ドゥーエル、西鉄ウェルネス(株)、(有)福岡店装、(株)FastFitnessJapan)

尚、エニタイムフィットネスフランチャイズオーナー企業各社から賞品をご提供いただきました。



公益社団法人スペシャルオリンピックス日本・福岡支援 第26回チャリティゴルフ大会

日時／2025年10月9日
場所／ザ・クラシックゴルフ倶楽部
参加人数／96名

秋晴れの中、ゴルフプログラムのアスリート達もコーチと一緒にラウンドすることができました。

ザ・クラシックゴルフクラブのトーナメントに向けて改造された素晴らしいコースでご参加の皆様楽しんでいただくことができました。

会費より頂いた寄付をはじめ協賛品、チャリティボックス等たくさんの支援のお気持ちを頂戴しました。



チャリティコンサート

日時／2025年10月2日
場所／巽ホール

今年も当団体理事・北原透江様のご厚意により素晴らしいコンサートが開催されました。

久留米市上津に新しく作られた巽ホールにYOSHIKIのピアノとヴァイオリン、ヴィオラの音が流れました。



2026年上半期行事予定

- 3月／定時社員総会
- 6月5日～7日／2026年第9回スペシャルオリンピックス日本・夏季ナショナルゲーム・東京(陸上/テニス/卓球)
- 6月27日／スペシャルオリンピックス日本・福岡30周年記念式典

公益社団法人 スペシャルオリンピックス日本・福岡

〒812-0016 福岡市博多区博多駅南1-5-12サンネットビル4階

〈お問合せは事務局まで〉

電話 092-260-9273 メール fukuoka@son.or.jp

アスリート募集中

6歳以上の知的障がいのあるアスリートであれば、どなたでも参加できます。障がいの度合いや程度、競技経験、スキルは関係ありません。まずはお気軽に事務局へお問合せください。

ボランティア募集中

SONの活動は皆様によって支えられています。知的障がいのあるアスリートを中心に、その家族であるファミリー、そしてボランティア、それぞれが互いに協力、共に成長する活動です。

支援企業募集中

障がいのある無しにかかわらず、多様な人たちがお互いの違いや個性を理解しあい、共に生きる社会創りに貢献したいと考えています。ご支援、ご協力を心よりお願い申し上げます。

賛助会員募集中(ご寄附)

知的障がいのある人たちのスポーツ活動の充実と共に多様な人たちが共に生きる社会を実現する仲間として、継続的に団体を支援する賛助会員にぜひご入会ください。



SON福岡



知的障がいのある人にスポーツを

公益社団法人 スペシャルオリンピックス日本・福岡

NEWSLETTER

2025年(令和7年)12月発行 第7号

スペシャルオリンピックス(SO)とは

知的障がいのある人たちに、日常的なスポーツトレーニングと成果の発表の場である競技会を年間を通じて提供し社会参加を応援する国際的なスポーツ組織です。



福岡選手団



スペシャルオリンピックスの第11回九州・沖縄ブロック大会が11月1、2、9日の日程で福岡県宗像市のグローバルアリーナを主会場に開かれ、各地区のアスリート、コーチの選手団約390人とスタッフ、ボランティア、ファミリーら約500人が参加しました。幸い天候にも恵まれ、競技の各会場ではアスリート達が熱戦を繰り広げ、応援に駆け付けたファミリー達も大きな声で後押ししました。

競技に先立って行われた開会式では、まず各地区の選手団が入場行進、大きな拍手で迎えられました。冒頭、松尾昌弘大会実行委員長が開会を宣言、次に武藤元美SON・福岡理事長が「大会を通して練習の成果を十分に発揮するとともに、けがなく安全に楽しんでください」とあいさつ。来賓の伊豆美沙子・宗像市長が「宗像市を挙げて心から歓迎します。思い出と交流の輪を広げてください」と祝辞を述べました。

続いてSON・福岡アスリートの代表が聖火を点火。「精一杯力を出して勝利を目指します。勝てなくても頑張る勇気を与えてください」とアスリート宣誓をしました。最後に地元のカメリア吹奏楽団福津のみなさんがアトラクションを披露、アスリート達も身振り、手振りを交えながら音楽を楽しんでいました。

第11回九州・沖縄ブロック大会 2025年11月1日、2日、9日

テニス

アスリート達の熱いラリーが続きました。「前の試合は力を入れすぎて負けたけど、あとひと試合あるから頑張りますよ」と櫻井正隆さん。原口周平さんも「楽しいです。さっきは引き分け。最後の試合勝ちます!」と元気いっぱいでした。



馬術

馬術プログラムは9日に恵光園ヒポクラブで行われました。不安定なお天気の中でしたが、アスリート達は練習の成果をいかに発揮し、他地区の選手団、ファミリー、ボランティアとの交流を図りました。「今回は世界的な障がい者馬術のトレーナーを海外から、SOナショナルトレーナーを神奈川からお迎えしてコーチ達も障がい者馬術に対する理解を深めるよい機会になりました。訓練された馬、スタッフ、という素晴らしい環境を提供していただきました恵光園様に深く感謝申し上げます。



ゴルフ

今回は諸事情により他地区の招待はせず記録会形式で大会を行いました。「当日は晴天に恵まれ、5人のアスリート達は日頃のプログラムの練習の成果を存分に出し、それぞれに納得のいく成績を納めてくれました」と伊豆良重コーチ。「ドライバーで自己最長飛距離を出しました」「ショートパットが一回で入った!」「ベストスコアで周れた」「新しい道具にチャレンジしてみたくなった」「また、次の大会も頑張りたい」とアスリート達も口々に答えていました。



卓球

「アスリート達が自分を信じて挑戦する勇氣、仲間と励まし合う心、スポーツの真の姿を見せていただき感動しました。自分らしく笑顔で最後まで全力を尽くした皆さんに心から拍手を送ります。これからもそれぞれの舞台で輝き続けてください。

来年の鹿児島でのブロック大会も楽しみです」と北原透江コーチからの報告です。

ファミリーの小笹久美子さんは「アスリート・応援する人・支援する人による三位一体の素晴らしい大会になったと思います。すべての人達に感謝の子持ちを送りたい」と話していました。



競泳

「アクアドームで総勢60名余りが日頃の成果を競い合いました。ボランティアの方々が競技委員としてお手伝いくださり、ファミリー総出で裏方を務める心温まる競技会となりました。表彰式ではたくさんの喝采を浴びたアスリート達の笑顔がキラキラ輝き素敵でした」とファミリーの安永恭子さんから報告がありました。



陸上

アスリートの樋口大征さんは「みんな速い! 走るの楽しい」と男子100m決勝を力いっぱい走り抜けました。たくさんの応援を受けて走る杉元風架さん。ゴールを待ち受けていた時安慶司コーチは「風架さんは小学三年生。初めてのお泊りで大会参加です。競技以外にも様々な面で頑張りました。スゴイ!」と話していました。



バスケットボール

福岡中央、と北九州の福岡の二チームが準決勝に進みました。「初ゴールを決めました。皆と楽しんでやってます」とアスリートの重岡譲二さん。萩原恵理子さん、二木緩乃さんも「勝てて嬉しかった。これからもバスケ頑張ります」と笑顔で答えてくれました。



ボウリング

宗像シティボウルで64名のアスリートが参加しました。ファミリーの辰田薫さんから「選手団はボランティアさんたちの拍手に迎えられバスで到着しました。最初は緊張していたアスリートもいましたが、競技が進むうち笑顔があふれる温かな雰囲気になりました」と報告がありました。



閉会式

2日(日)の午後3時からグリーンパルアリーナ体育館で、アスリートの立石雄太さんの司会で閉会式が行われました。安増昌子SON・福岡名誉会長から「このブロック大会が毎年開催されることが幸せです。来年はSON・福岡は30周年を迎えます。大切な思い出となるよう、継続していくことが大切です」と挨拶があり、次回開催地の伊藤七苗SON・鹿児島会長からは「素晴らしいパワーをありがとう!」との言葉をいただきました。

「楽しい2日間でした。ありがとうございました」とバスケットボールの柴田嘉也さんがアスリート代表として挨拶したのち、松尾昌弘大会実行委員長が閉会宣言を行いました。

その後、アスリートに加えコーチ・スタッフ全員で協力して体育館いっぱいに「SON」の人文字を作りました。

